

「(仮称) 町田市新たな学校づくり推進計画」の構成 (案)

町田市の未来の子ども達により良い教育環境をつくり、充実した学校教育の実現に向けて、学校ごとの学級数や学校施設機能といった教育環境の違いがもたらす学校教育上、学校経営上の課題を解決し、適正規模・適正配置の推進を契機とした新たな学校づくりを計画的に推進するために、「(仮称) 町田市新たな学校づくり推進計画」(以下「推進計画」)を策定いたします。

教育委員会は、まちだの新たな学校づくり審議会(第2期 町田市立学校適正規模・適正配置等審議会)(以下「審議会」)に対して、この推進計画の策定について諮問いたしました。そして、2020年5月11日に開催した第1回審議会で確認した推進計画の構成(案)は下記のとおりです。

■ (仮称) 町田市新たな学校づくり推進計画の構成 (案)

(1) 今後の町田市立学校を取り巻く環境変化

- ① 町田市立小・中学校の児童・生徒数の推移と将来推計について
- ② 町田市立小・中学校施設の老朽化について
- ③ 子どもたちが社会から期待される資質・能力について
- ④ 特別支援教育の環境整備について
- ⑤ ICT を活用した教育活動の推進について
- ⑥ 学校を支えるチーム体制の推進について
- ⑦ 地域の核となる学校づくりの推進について

(2) 計画の概要

① 計画の目的

町田市の未来の子ども達により良い教育環境をつくり、充実した学校教育の実現に向けて、学校ごとの学級数や学校施設機能といった教育環境の違いがもたらす学校教育上、学校経営上の課題を解決し、適正規模・適正配置の推進を契機とした新たな学校づくりを計画的に推進すること。

② 計画期間

2022年度～2041年度(20年間)

※計画期間内において、5年単位で第1期から第4期に期間を区分します。

(3) 町田市立学校の新たな学校づくりの基本的な考え方

適正規模・適正配置の推進を契機とした新たな学校づくりを進めるためには、今後の町田市立学校における学校教育、市民活動、放課後活動のあり方を見据えた一貫した基本理念・基本方針を定め、学校統廃合時の改築または他の公共施設との複合化時における改築を進める必要があります。

そこで、その基本理念及び基本方針や今後の町田市立学校に必要な施設機能などを定める「町田市立学校の新たな学校づくりの基本的な考え方」を審議会及び町田市立学校の新たな学校づくりのあり方検討部会で調査審議のうえ、推進計画に位置づけます。

(4) 町田市立学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方 ※2019年度策定済

(5) 町田市立学校の新たな通学区域

2019年度に策定した「町田市立学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方」に基づいて、適正規模の実現を目指した望ましい通学区域の編成と学校配置について、審議会で調査審議のうえ、推進計画に位置づけます。